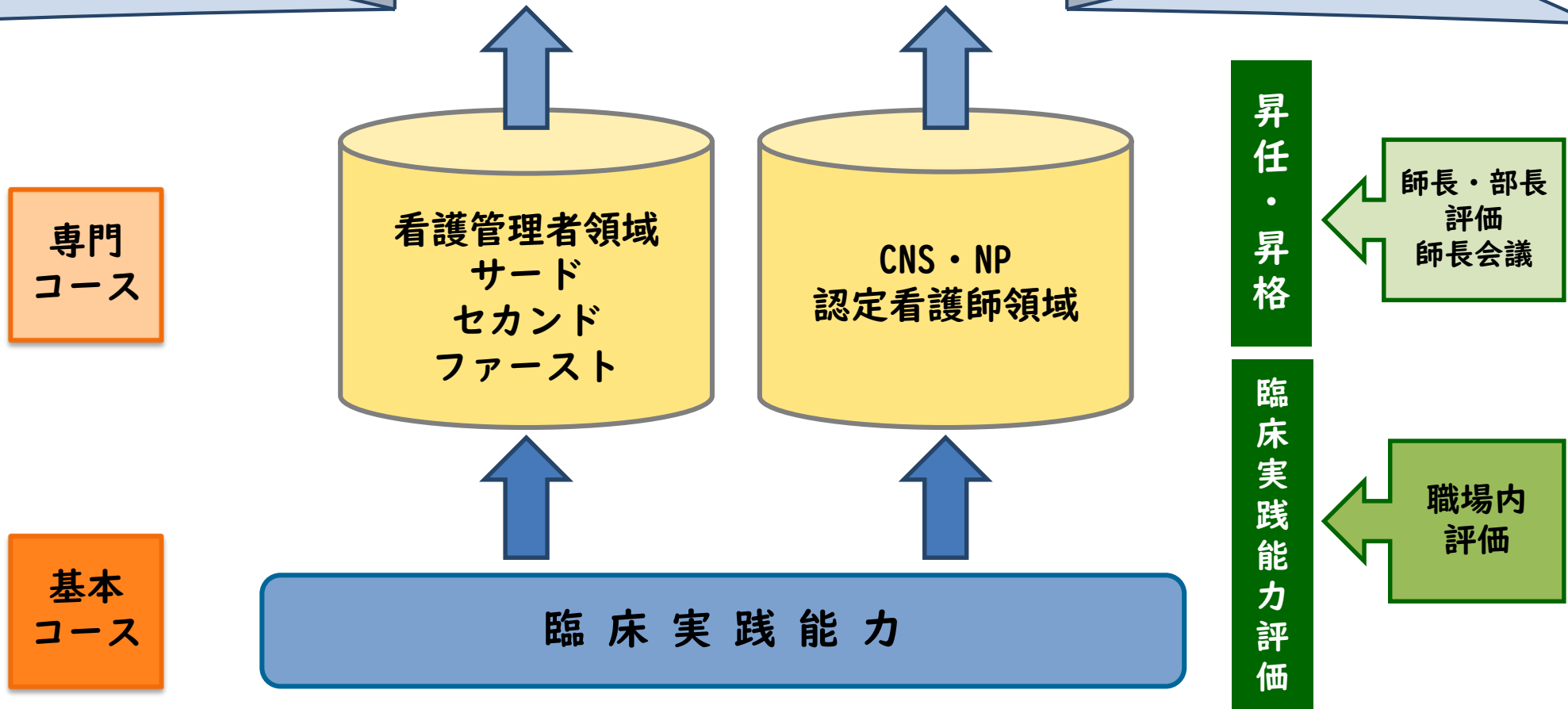


教育構想

優しさと思いやりを持って全ての人に
信頼される看護を提供します



看護師のクリニカルラダー

ベナー看護論 達人ナースの位置付けとパワー

初心者	オリエンテーションを受けている新卒者 先輩の指導のもとで、指針と規則に従ってデータを収集し、臨床上の決定をする際や新しい役割を実践するときには、援助を求める。
新人 ラダー I	方針・手順・基準によってガイドされる。患者状況や患者がどのように反応するかという視点よりも、自分達が何をすべきかの視点から臨床状況を描写する。 ルチーン of 患者ニーズを満たしながら、理論的知識に基づいて実践する。
一人前 ラダー I	手技的技術のほとんどを習得しており、理論的知識と臨床経験を患者、家族のケア場面で統合する。よく起こる状況での患者の反応様式の認識が高まり、患者、家族を中心とした観点から臨床状況を見始める。
中堅 ラダー I	看護実践の深い知識を持ち、状況を全体として知覚し経験に基づいて把握している。 状況の変化に対応でき、自信を持って迅速かつ柔軟に対処できる。 作業志向から全人的患者ケアの進歩がある。 統合したケアを提供する為にリーダーシップを発揮する。
達人 ラダー I	達人としての直感と技術は、経験に基づいた包括的な技術である。 自分の個人的価値を加えながら患者、家族の選択を支持することができる 他者と協力して資源調整を行い患者、家族にとって最も効果的な活用ができる。